

原田裕規（はらだ・ゆうき）

1989年山口県生まれ。美術家。

社会の中で「とるに足らない」とされているにもかかわらず、広く認知されている視覚文化をとり上げ、議論喚起型の問題を提起するプロジェクトで知られる。2012年に「ラッセン展」の共同企画でデビューし、2013年に編著書『ラッセンとは何だったのか?』（フィルムアート社）を刊行、2017年以降は心霊写真をテーマにしたプロジェクトを展開、2019年以降は「ハワイ」をテーマにしたプロジェクトを進めている。

主な個展に「One Million Seeings」（KEN NAKAHASHI、2019年）、「写真の壁：Photography Wall」（原爆の図 丸木美術館、2019年）、「心霊写真／ニュージャージー」（Kanzan Gallery、2018年）、コラボレーションに『広告』Vol.414 [特集：著作]（博報堂、2020年）などがある。

経歴

2017 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてニュージャージーに滞在
2016 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了
2013 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業

個展

2019 「One Million Seeings」KEN NAKAHASHI
「作者不詳 #3 ブルーシート」CAGE GALLERY
「写真の壁：Photography Wall」原爆の図 丸木美術館
2018 「作者不詳 #2 「掲示／啓示」」CAGE GALLERY
「心霊写真／マツド」山下ビル
「回顧展」コ本や
「心霊写真／ニュージャージー」Kanzan Gallery
2017 「作者不詳 #1-1, #1-2, #1-3」CAGE GALLERY
2015 「エンドロール」パーブルームギャラリー（NADiff a/p/a/r/t 内）
「Juxtaposition」switch point
2014 「lighthouse vol.9 原田裕規展」switch point

刊行物

2020 作品集『One Million Seeings』王子スタジオ
アートワーク『広告 Vol.414（特集：著作）』博報堂
共著『地域アートはどこにある?』堀之内出版
共著『スポーツ／アート』森話社
2018 記録冊子『心霊写真／マツド』山下ビル
2017 作品集『Fwd: print n.1』自家版
2015 共著『ラムからマトン』アートダイバー
編著『lighthouse vol.9 原田裕規展』switch point
共編著『ARCMA Report 2014』慶應義塾大学アート・センター ARCMA 事務局
2013 編著『ラッセンとは何だったのか? ——消費とアートを越えた「先」』フィルムアート社

企画

2017 「ニュー・フラット・フィールド」（石井友人・中島晴矢との共同企画・出品）デジタルハリウッド大学八王子キャンパス
2013 「シリーズ「呪術」à Le Tabou vol.2 椋本真理子」Le Tabou
2012 「シリーズ「呪術」à Le Tabou vol.1 帆苺祥太郎」Le Tabou
「心霊写真展」22:00 画廊
「ラッセン展」CASHI

グループ展

2020 「遭逢的映像」静慮藝廊
「Alter-narratives——ありえたかもしれない物語」東京藝大国際芸術創造研究科ウェブサイト
「だれかのなにか——アーティスト・フレア・マーケット」The Book Markers' Gathering, Shibuya ウェブサイト
2019 「きりとりめでると未然の墓標（あるいはねこ動画の時代）2019-2020」パーブルームギャラリー
「彫刻書紀展」四谷未確認スタジオ
「コ本や Selection Vol. 01」コ本や
「ゲンビどこでも企画公募 2019」広島市現代美術館
「原田裕規 | 百頭たけし「心霊写真」」関内文庫
「多和田有希 | 原田裕規「家族系統樹」」表参道画廊
2018 「SURVIBIA!!」デジタルハリウッド大学八王子制作スタジオ
2017 「ニュー・フラット・フィールド」デジタルハリウッド大学八王子制作スタジオ
2016 「MITSUKOSHI × 東京藝術大学 夏の芸術祭 2016 次代を担う若手作家作品展」日本橋三越本館 6 階
「パープルタウンにおいでよ」パーブルーム予備校、パーブルーム見晴らし小屋、ゼリー状のパーブルーム
「第 64 回東京藝術大学卒業・修了作品展」東京藝術大学上野校地
2015 「WIP 展 2015」東京藝術大学取手校地
2013 「東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程 1 年博士課程 2 年 ATLAS 展」東京藝術大学大学美術館取手館
「平成 24 年度 武蔵野美術大学卒業制作・修了制作優秀作品展」武蔵野美術大学美術館
「平成 24 年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展」武蔵野美術大学

- 執筆
- 2020 連載「プレイバック!美術手帖 Vol.13」『美術手帖』2020年6月号、美術出版社 | pp.212-213
「小沢剛に聞く コードをすり抜ける変化球の投げ方」『美術手帖』2020年4月号、美術出版社 | pp.58-61
- 2019 連載「プレイバック!美術手帖 Vol.12」『美術手帖』2020年4月号、美術出版社 | pp.234-235
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.11」『美術手帖』2020年2月号、美術出版社 | pp.226-227
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.10」『美術手帖』2019年12月号、美術出版社 | pp.228-229
「「再評価」より前に考えたいこと。原田裕規評「80年代の美術4——前本彰子展」『美術手帖 (WEB)』2019年11月9日配信、BTCompany
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.9」『美術手帖』2019年10月号、美術出版社 | pp.240-241
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.8」『美術手帖』2019年8月号、美術出版社 | pp.230-231
「「アウトサイド」と「アートのサイド」、どちらに立つか? 原田裕規評「榎野展正のアウトサイド・ジャパン展」『美術手帖 (WEB)』2019年6月18日配信、BTCompany
「写真という思い込みを疑い、現代の「洞窟」としてホテルを見た。写真家・横田大輔インタビュー」『美術手帖 (WEB)』2019年6月12日配信、BTCompany
「ARTIST PICK UP.2 ヴィンセント・ライタス」『美術手帖』2019年6月号、美術出版社 | pp.172-177
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.7」『美術手帖』2019年6月号、美術出版社 | pp.234-235
「藤井雅実インタビュー」『美術手帖』2019年6月号、美術出版社 | pp.88-89
「「広告の時代」のアートとは何か?」『美術手帖』2019年6月号、美術出版社 | pp.52-55
「2010年代アートシーンを支えるキーパーソン」『これからの美術がわかるキーワード100』2019年4月、美術出版社
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.6」『美術手帖』2019年4月号、美術出版社 | p.212-213
「「ありふれたもの」を散漫にみること」『美術手帖』2019年4月号、美術出版社 | p.126-127
「アーティストの職能」『APMoA Project, ARCH』2019年3月、愛知県美術館
「「シミュレーター」の3展覧会」『クイック・ジャパン』142号、太田出版 | p.167
「「家族アルバム」というフォーマット、それを超える強いつながり。原田裕規評 森栄喜展「Letter to My Son」『美術手帖 (WEB)』2019年1月18日配信、BTCompany
- 2018 連載「プレイバック!美術手帖 Vol.5」『美術手帖』2019年2月号、美術出版社 | p.234-235
「「見ること」の3展覧会」『クイック・ジャパン』141号、太田出版 | p.175
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.4」『美術手帖』2018年12月号、美術出版社 | p.220-221
「ケイト・グラービー インタビュー」『美術手帖』2018年12月号、美術出版社 | p.148-153
「「切り取り」の3展覧会」『クイック・ジャパン』140号、太田出版 | p.183
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.3」『美術手帖』2018年10月号、美術出版社 | p.202-203
「「諦め」の3展覧会」『クイック・ジャパン』139号、太田出版 | p.167
「藤田嗣治年表」『美術手帖』2018年8月号増刊、美術出版社 | pp.52-55
「藤田嗣治ライフストーリー」『美術手帖』2018年8月号増刊、美術出版社 | pp.44-61
構成「「ピカソが僕を変えた」横尾忠則、ピカソを語る。」『美術手帖 (WEB)』2018年7月23日配信、BTCompany | https://bijutsutecho.com/magazine/special/promotion/18094?fbclid=IwAR1o0fMSWjOT9GjO1MhsDDrffwUw1QCNilDg_d8hClaitaigSxTRNv3Bdp78#.W1Walr1W07Y.twitter [2018年11月11日アクセス]
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.2」『美術手帖』2018年8月号、美術出版社 | pp.250-251
「『美術手帖』創刊70周年 × NADiff a/p/a/r/t 10周年記念企画」選書フェア、NADiff a/p/a/r/t [コメント寄稿]
「「作者不詳」の3展覧会」『クイック・ジャパン』138号、太田出版 | p.183
サハ「演劇エリートスクール」チラシ [アートワーク提供]
「物質としてスケール感を扱う方法」『WYSASSS』DOOKS
連載「プレイバック!美術手帖 Vol.1」『美術手帖』2018年6月号、美術出版社 | pp.202-203
「Chim ↑ Pom インタビュー」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.32-40
「《作品の時代》とは何か?」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.42-43
「コ本やインタビュー」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.44-47
「Alternative Space Core」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | p.57
「ラファエル・ローゼンダール インタビュー」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.173-187
聞き手「ローレンス・ウィナー インタビュー」『美術手帖』2018年3月号、美術出版社 | pp.124-127
聞き手「「パラレルな美術史」とは何か? 小沢剛が見せる「不完全」展」『美術手帖 (WEB)』2018年1月18日配信、BTCompany | <https://bijutsutecho.com/interview/10807/> [2018年2月10日アクセス]
「読者から読者へ: 第四回「二十一世紀の名著」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2018年1月
- 2017 聞き手・構成「長谷川愛インタビュー」『美術手帖』2018年1月号、美術出版社 | pp.26-30
文字起こし・構成「横尾忠則インタビュー (聞き手: 伊藤亜紗)」『アイデア』2018年1月号、誠文堂新光社 | pp.32-35
石井友人・中島晴矢・原田裕規 (鼎談)「なぜ「郊外」は語られない? ニュータウン発の現代美術展で考える」『CINRA.NET』2017

- 年 11 月 7 日配信、CINRA.NET | <https://www.cinra.net/interview/201711-newflatfield> [2018 年 2 月 10 日アクセス]
- 「読者から読者へ：第三回「永遠の謎を求めて」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017 年 10 月
- 「読者から読者へ：第二回「美しい世界ってなんだろう？」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017 年 8 月
- 「命名のあとさき」『美術手帖』2017 年 8 月号、美術出版社 | pp. 184-185
- 「裏声が聞こえる」『美術手帖』2017 年 7 月号、美術出版社 | pp. 150-151
- 「読者から読者へ：第一回「世界の見方を変える本」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017 年 6 月
- 「制度批判者としての松澤宥」『美術手帖』2017 年 6 月号、美術出版社 | pp. 186-187
- 「制作を媒介に神話の世界へ。上妻世海インタビュー（前・後編）[聞き手・構成]」『美術手帖（WEB）』2017 年 4 月 4 日配信、BTCompany、<https://bijutsutecho.com/interview/2862/> | <https://bijutsutecho.com/interview/2958/> [2017 年 6 月 8 日アクセス]
- 「無 - 関係性の絵画」『美術手帖』2017 年 2 月号、美術出版社 | p.173
- 「コンセプトとしての絵画の死に方」『美術手帖』2017 年 2 月号、美術出版社 | pp. 188-189
- 2016 「特集 あなたの知らないニューカマー・アーティスト 100」における宮下大輔、ローゼン・シマムラ、齋藤恵汰の推薦・解説文の執筆
- 『美術手帖』2016 年 12 月号、美術出版社 | pp.49-84
- 「表現としての施行」『美術手帖』2016 年 12 月号、美術出版社 | pp.212-213
- 「眼病としての太陽」『美術手帖』2016 年 10 月号、美術出版社 | pp.166-167
- 「過激化する「ふつう」『経済産業省第四分館』（寿山凡太郎個展記録集）2016 年 9 月
- 「破壊／建設」される不気味さ」『美術手帖』2016 年 9 月号、美術出版社 | p.177
- 「《パープルタウンの風景》に寄せて」《パープルタウンにおいでよ》（2016.7.10-7.19）における会場「パーブルーム予備校」で発表
- 「展覧会の作者とは」『美術手帖』2016 年 5 月号、美術出版社 | pp.182-183
- 「再演される「不定」」『美術手帖』2016 年 4 月号、美術出版社 | pp.180-181
- 2015 「「ほか」としてのパーブルーム」『美術手帖』2015 年 10 月号、美術出版社 | pp.198-199
- 「寛容——N・ケティングの表現」『美術手帖』2015 年 7 月号、美術出版社 | pp.160-161
- 「蒙古斑と美術の余白」『ラムからマトン』（編著：梅津庸一）アートダイバー
- 「網羅的に併置すること（Juxtaposition）」『lighthouse vol.9 原田裕規展』（編著：原田裕規）switch point
- 「灰色の幻」『ARCMA Report 2014』（編著：上崎千・國本学史・原田裕規）慶應義塾大学アート・センター ARCMA 事務局
- 文字起こし・編集「「MOT コレクションつくる、つかう、つかまえる——いくつかの影響から」関連プログラム「高柳恵里の作品について——対談：高柳恵里 × 蔵屋美香」採録」『平成 26 年度 東京都現代美術館年報 研究紀要 第 17 号』東京都現代美術館
- 「山口晃最新インタビュー」インタビュー『美術手帖 2015 年 4 月号』美術出版社
- 2014 「五島記念文化賞 美術新人賞研修帰国記念 鬼頭健吾 Reflection “反映”」展レビュー『REAR 34 号』REAR 制作室
- 「歪み——坂本夏子の絵画」『美術手帖 2014 年 12 月号』美術出版社
- 「《落葉》の視点と「日本」の自画像」『月刊美術 2014 年 11 月号』サン・アート
- 「レセプタとしての大地——立ちのぼる生命 宮崎進展」『美術手帖 2014 年 8 月号』美術出版社
- 「フィクションは疑いを晴らすか——「非日常からの呼び声」展」『美術手帖 2014 年 7 月号』美術出版社
- 「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第 10 回（最終回）——偶然と「人間と物質」について」『美術手帖 2014 年 6 月号』美術出版社
- 「木梨憲武のハード・コア」『木梨憲武展 × 20years』美術出版社
- 「アール・ローランのダイアグラム」『ART CRITIQUE n.4』constellation books（京都）
- 「バルテュスの画業と人生」『美術手帖 2014 年 4 月号』美術出版社
- 「批評の無限後退——バルテュスをめぐる言説から」『ユリイカ 2014 年 4 月号』青土社（東京）
- 「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第 6 回——態度が形にならない、人間と物質のあいだ」『美術手帖 2014 年 1 月号』美術出版社
- 2013 「新・方法的なもの」『新・方法 第 35 号』新・方法
- 「フレミングし、追認せよ——「福田美蘭」展」『美術手帖 2013 年 10 月号』美術出版社
- 「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第 3 回——反論理の美術批評」『美術手帖 2013 年 9 月号』美術出版社
- 「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第 1 回——理論物理学と美術批評のあいだ」『美術手帖 2013 年 7 月号』美術出版社
- 「はじめに」「ラッセン展」とは「クリスチャン・ラッセンの歩み」「クリスチャン・ラッセンの画業と作品——事後的評価と再召喚される「ベタ」」「作品分析のアクチュアリティ——ラッセンを見ることの意味」「おわりに」『ラッセンとは何だったのか？』（編著：原田裕規）フィルムアート社
- 「小沢ノッポさんの素——小沢剛「できるかな」展」『美術手帖 2013 年 6 月号』美術出版社
- 「新しいユートピアへ——今津景「PUZZLE」展」『美術手帖 2013 年 5 月号』美術出版社
- 「アール・ローラン論——セザンヌ作品のダイアグラム分析をめぐって」武蔵野美術大学
- 2011 「風景について」武蔵野美術大学
- 「宮下大輔インタビュー」『Culture Power』武蔵野美術大学
- 2010 「インタビュー・アーカイヴサイト「Culture Power」運営・インタビュアー」武蔵野美術大学
- 2009 「梅沢和木インタビュー」『美術批評とは何か』武蔵野美術大学

- 2019 「プレイバック！美術手帖「バックナンバーから考える現在・未来」NADiff a/p/a/r/t [原田裕規、上崎千、松井茂]
「写真の壁：Photography Wall」トークイベント、原爆の図 丸木美術館 [榎木野衣]
「写真の壁：Photography Wall」トークイベント、原爆の図 丸木美術館 [きりとりめでる]
- 2018 「写真の壁：Photography Wall」オープニングトーク、原爆の図 丸木美術館 [岡村幸宣]
『神霊』写真について（特別講座「宥学会・遊学塾」第56回）美学校
「視覚障害者と一緒に楽しむ写真教室／トークイベント」ギャラリーかれん [尾崎大輔、小高美穂、視覚障害のある方2名、原田裕規]
「SURVIBIA!!」クロストーク、デジタルハリウッド大学八王子キャンパス
「〈地域アート〉はどこにある？」プロジェクト クロストーク 十和田市現代美術館 [林暁甫、藤田直哉、金澤韻、原田裕規]
「パープルーム大学附属ミュージアムのヘルスケア 関連トークイベント第一弾「展覧するということ」」梅津会館2階 [梅津庸一、原田裕規]
「《凍土》を解凍 [デコード] する」山口県立美術館
「心霊写真／マツド」トークイベント、山下ビル [副田一穂]
「回顧展」トークイベント、コ本や [上崎千]
「心霊写真／ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [三輪健仁]
「回顧展」トークイベント、コ本や [飯盛希]
「心霊写真／ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [中尾拓哉]
「心霊写真／ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [田坂博子]
「Project Intersection ワークショップ「Intersection I:地域・歴史・アートの狭間で」」クリエイティブセンター大阪（名村造船所跡地）
2017 内 Black Chamber [パネリスト：藤井光、原田裕規、飯山由貴、上崎千、モデレーター：小森真樹、牧田義也]
「自営と共在（企画：齋藤恵汰）」展ゲストトーク、BARRAK 大道 [鈴木操、原田裕規]
2016 「芸文的：アートのお仕事 2017」武蔵野美術大学 [スピーカー：水田紗弥子、沢山遼、原田裕規、戸塚愛美、ファシリテーター：冠那菜奈]
2015 「Meets Nights at Barrack」Barrack [Jason Waite、黒崎想、オル太、原田裕規、亜鶴、木村奈緒]
「美術という制度と物語——土人の構想画からラッセンまで」NADiff a/p/a/r/t [梅津庸一、原田裕規]
2014 「ARTIST' GUILD 生活者としてのアーティストたち」東京都現代美術館地下2階講堂
「映像メディア学特別研究」東京藝術大学横浜校地
「CAMP：Discursive #1〈参加すること〉」森美術館
「CAMP：えをかくこと #2〈展覧会をつくる〉」blanClass
「鈴木広志個展ゲストトーク」XYZ collective [鈴木広志、原田裕規、ツカダシュウヘイ、寒田美緒]
2013 「組立-転回/対話企画 上田和彦 × 原田裕規「自己教育としての美術——なぜ作家が企画を立てるのか」」東京造形大学 CS-Lab
「現在のアート〈2013〉」森美術館
「女子美術大学 芸術表象論特別講義 #15」女子美術大学
「ラッセンの「聴取」」[星野太、原田裕規、櫻井拓] Le Tabou
『「ラッセンとは何だったのか？」』出版記念「いま、ここからのラッセン vol.2」[千葉雅也、大山エンリコイサム、原田裕規] B&B
「KoSAC「ラッセンをいかに語るのか？」」[中ザワヒデキ、原田裕規、加島卓、光岡寿郎] 武蔵野美術大学
「中ザワヒデキ文献研究 夏の陣最終回」[中ザワヒデキ・武田美和子・原田裕規] 美学校
「引込線 2013『「作品」の成立をめぐる』」[勝俣涼・原田裕規・椋本真理子・百瀬文] 旧所沢市立第2学校給食センター
「三原回個展トーク「アーティストと死」」[原田裕規・三原回・図師雅人] あおば荘
『「ラッセンとは何だったのか？」』出版記念「いま、ここからのラッセン vol.1」[齊藤環、大野左紀子、速水健朗、原田裕規] B&B
「触れる音、聞こえる形」[椋本真理子・原田裕規] Le Tabou
「現場」研究会ゲストトーク 宮益坂ビル
2012 「平成24年度 武蔵野美術大学芸術文化学科卒業制作展 座談会」[杉浦幸子、高橋実和、櫻林恵美理、原田裕規] 武蔵野美術大学
「Provisional School 暫定学校」[粟田大輔・小林晴夫・橋本聡・藤川琢史・原田裕規・村山悟郎・一ノ瀬健太・光岡幸一・五位野聖・野本直輝・田中丸善一ほか] 東京造形大学 CS-Lab
「触れる音、聞こえる形」[原田裕規・帆苅祥太郎] Le Tabou
「マテリアリティとクオリティ——ムアとハーストの反復性から」[杉浦幸子・原田裕規] Neutron Tokyo
「夜と芸術」[榮龍太郎・原田裕規] 22:00 画廊
2011 「心霊写真展トークイベント」[榮龍太郎・原田裕規・松井勝正] 22:00 画廊
2010 モデレーター 《3.11以降のアート（パネリスト：石黒敦彦、沢山遼、岡村幸宜）》銀座会議室
助監督『白昼夢』監督：森本はる葉、主演：宮下大輔

掲載情報

- 2020 インタビュー「In Yuki Harada's Spiritual 'Cave」『ODALISQUE Magazine』2020年4月20日、
<https://www.odalisque.com/articles/2020/04/20/yuki-haradas-spiritual-cave-photography-by-Ksenia-Rundin> [2020年5月24日アクセス]
「他收集了被掉的五万照片，堆成了一座山 | 原田裕規」『虫』2020年1月5日、<https://opensee.tuchong.com/t/61426367/> [2020年5月24日アクセス]

- 2019 きりとりめでる「壁でかたちづくられる原田裕規」『原爆の図丸木美術館ニュース』2019年4月号、原爆の図 丸木美術館
- 2018 「埋もれる原爆の記憶 表現」『中国新聞』2019年3月1日、中国新聞社
- インタビュー「心霊写真について（聞き手：きりとりめでる）」『パンのパン 03』2018年
高嶋慈「原田裕規「心霊写真／マツド」」『artscape』2018年9月15日号配信、DNP |
http://artscape.jp/report/review/10149059_1735.html?fbclid=IwAR2Mbg0hv3gUb132PKALJhs195VONxkKLhPFtlCRWDE_hntwwG4rtWgVEnl [2018年11月11日アクセス]
- 「目に見えるものが真実とは限らない？ 副田一穂が見た、原田裕規「心霊写真／マツド」展」『美術手帖（WEB）』2018年8月30日
配信、BTCompany |
<https://bijutsutecho.com/magazine/review/18327?fbclid=IwAR3CGOD70Bc-Z8POVnxvzqliSPrn-EygUFUcb7XykavljJTrmiMGVnmoRUI> [2018年11月11日アクセス]
- 「日本で発表されているアート400選」『ギャラリー』2018年8月号、ギャラリーステーション | p.129
- インタビュー『二十一生』（聞き手：Lee Yong Jun）<https://21sss.net/Yuki-Harada-Jp> [2018年11月11日アクセス]
- 志田康宏「額装の日本画」展のテーマと裏テーマ」『美術運動史』167号
- インタビュー「原田裕規インタビュー（聞き手：佐藤拓真）」『「作者不詳 #2「揭示／啓示」』冊子、CAGE GALLERY
- インタビュー「写真表現の拡張を試みる 原田裕規に中尾拓哉が訊く」『美術手帖（WEB）』2018年7月13日配信、BTCompany |
https://bijutsutecho.com/magazine/interview/14933?fbclid=IwAR1sy2w9PCNzs5rZ_0jhp6l4uXZc5aB9clZwkiSTVHDSWiSPIJCx8U1lwV4#.W0h9vlkwoZp.twitter [2018年11月11日アクセス]
- 長谷川新「写真について考える」の3展覧会」『クイック・ジャパン』137号、太田出版、2018年 | p.191
- 飯沢耕太郎「原田裕規「心霊写真／ニュージャージー」」『artscape』DNP、2018年4月15日 |
http://artscape.jp/report/review/10144995_1735.html?fbclid=IwAR0d9CohP98OMGN9zLs9Qp3powF0nhXsoZolUjLtxnoihiQxY4xYCY3kg [2018年11月11日アクセス]
- gnck「イメージの心霊。gnckが見た、原田裕規「心霊写真／ニュージャージー」展」『美術手帖（WEB）』2018年4月3日配信、
BTCompany |
https://bijutsutecho.com/magazine/review/13589?fbclid=IwAR0iCd9G7BWEvR17t0PAOz4EK2ekB7HdARdloZwx_Bm3s5a-7K09QYjT5Ak [2018年11月11日アクセス]
- 「浮遊するイメージを作り出す試み」『ギャラリー』2018年3月号、ギャラリーステーション | p.39
- 2017 『ALLOTMENT ART MAGAZINE Vol.3』[作品紹介] アロットメント事務局、2018年1月
- 宮原朋之「大人の文化祭『NEWTOWN』。カルチャーが元小学校に集結した日」（「ニュー・フラット・フィールド」展レビュー）
『CINRA.NET』2017年12月28日配信、CINRA.NET | <https://www.cinra.net/report/201712-newtown> [2018年2月10日アクセス]
- 2016 中尾拓哉「まぼろしの在処」（「ニュー・フラット・フィールド」展レビュー）『美術手帖』2018年1月号、美術出版社 | pp.194-196
- 土屋誠一「親密さについて」（「パープルタウンにおいでよ」展レビュー）『美術手帖』2016年10月号、美術出版社 | pp.164-165
- 2015 「特集 美大生の今 2016 美大から社会へ 修了制作を終えた院生たちによる座談会」（黒木美都子・佐竹真紀子・高島美幸・永井天陽・
原田裕規・前川ひな・宮川慶子）『ギャラリー』2016年3月号、ギャラリーステーション | pp.81-99
- 「ART NAVI」2015年10月号、美術出版社
- gnck「原田裕規は真面目である。」（lighthouse vol.9 原田裕規展レビュー）『美術手帖』2015年3月号、美術出版社 | pp.250-251

助成

- 2020 「令和2年度 新進芸術家海外研修制度（短期研修・後期）」
- 2018 「公益財団法人アイスタイル芸術スポーツ振興財団 現代芸術振興助成」
- 2016 「平成28年度 新進芸術家海外研修制度（短期研修・後期）」

受賞歴

- 2019 「ゲンビどこでも企画公募 2019」木村絵理子賞
- 2013 「Book of the Year 2013 (dacapo 主催)」第7位（『ラッセンとは何だったのか？——消費とアートを越えた「先」』）
「平成24年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展」優秀賞